

新宿の軍医学校跡 21日から発掘調査

厚生労働省

厚生労働省は、「終戦時に人体標本が埋められた」との証言が出ている旧陸軍軍医学校跡地(東京都新宿区)の発掘調査を21日開始することを決めた。同所には戦時中、細菌兵器などを開発していた「731部隊」(関東軍防疫給水部)の研究拠点があり、市民団体が調査を求めている。同跡地では89年、工事中に地下から人骨が見つかり、厚生労働省は01年、731部隊との関連は不明としつつ「標

本作製用などとして集められた日本人などの戦死者を含む遺体の一部」との調査結果を公表。06年に軍医学校の元看護師が当時の状況を証言し、昨夏、発掘方針を決めていた。昨秋、公務員住宅が取り壊され調査が可能になった。【佐々木洋】